

第一回足立区ギャラクシティ運営評価委員会議事録

会 議 名	第一回足立区ギャラクシティ運営評価委員会			
開 催 年 月 日	平成 29 年 3 月 26 日 (日)			
開 催 場 所	こども未来創造館 事務室			
開 催 時 間	12 時 30 分開会～15 時 00 分閉会			
出 欠 状 況	委員現在数	10 名		
	出席委員数	5 名		
出席者(敬称略)	■出席	委員長	■宮田 隆志 (東京大学大学院理学系研究科准教授)	
		委員	■池田 幸也 (常磐大学コミュニティ振興学部学部長)	
		□欠席	委員	□井徳 正吾 (文教大学情報学部情報社会学科教授)
			委員	■小森 伸一 (東京学芸大学教育学部健康スポーツ科学講座准教授)
			委員	□伊志嶺 絵里子 (東京藝術大学音楽学部非常勤講師)
	委員		□林 克彦 (石洞美術館学芸員兼事務局長)	
	委員	□田中 則聡 (足立区立小学校PTA連合会会長)		
	委員	□大林 英夫 (足立区少年団体連合協議会副会長)		
	委員	■勝倉 秀一 (一般公募)		
	委員	■山崎 千枝 (一般公募)		
事 務 局	子ども家庭部青少年課	課長	寺島 光大	
	青少年課ギャラクシティ支援担当	係長	中島 宣幸	
	青少年課ギャラクシティ支援担当		上野 兼司	
	青少年課ギャラクシティ支援担当		照屋 良太	
	青少年課青少年教育担当	係長	村上 長彦	
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 青少年課長挨拶 4. 現場視察 5. 意見交換 6. 閉会 7. 事務連絡 			
配布資料	資料1 「本日の次第」 資料2 「ギャラクシティ運営評価委員会の活動目的とスケジュール」 資料3 「平成 25・26・27 年度足立区ギャラクシティ運営評価委員会 評価書」 資料4 「本日の事業視察スケジュールについて」 資料5 「ギャラクシティニュース等」			

中島係長	<p>< 1. 開会 ></p> <p>本日はお忙しい中、また足元の悪い中お集まりいただき、ありがとうございます。これより、第一回ギャラクシティ運営評価委員会を始めさせていただきます。本委員会は「足立区こども未来創造館条例」第24条及び第25条に基づき、区長の附属機関として開催されるものです。なお、本委員会は「足立区ギャラクシティ運営評価委員会公開規程」に基づき、公開会議となります。</p> <p>それでは開会に先立ちまして、宮田委員長より、ご挨拶を賜りたいと思います。</p>
宮田委員長	<p>< 2. 指定管理者入場 ></p> <p>< 3. 委員長挨拶 ></p> <p>今年度最初の委員会である。本日はギャラクシティで春フェスを行っているので指定管理者の運営状況をしっかりと確認していただきたい。</p>
寺島課長	<p>< 4. 青少年課長挨拶 ></p> <p>第一回の開催にあたり、3月26日及び3月28日の2回に分けての開催となりましたことをお詫び申し上げます。本日は、子どもたちの活動の集大成である春フェスを行っておりますので、子どもたちの活躍をご覧いただき、可能であれば子どもたちの声を聞いていただきたい。</p>
中島係長	<p>それでは、ここからの進行は、委員長にお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
宮田委員長	<p>ただいまから、足立区ギャラクシティの平成28年度運営にかかる、第1回運営評価委員会を開会いたします。まずは、本日の資料について、事務局からの確認をお願いしたい。</p>
中島係長	<p>< 5. 資料確認 ></p> <p>< 6. 事業視察 ></p> <p>(館内案内)</p> <p>< 7. 意見交換 ></p>
小森委員	<p>休日ということもあり、家族連れの方が来館していたため、多くのブースが出ており賑わいがあった。子どもたちがリーダー役になり、利用者への説明等を行っている状況がとてもよくわかった。</p>

池田委員	平日は以前視察し、今回、休日の運営状況を視察できたので、休日と平日の対応の差が分かった。講座やワークショップの先生、スタッフが一丸となって取り組んでおり、結果利用者の方が楽しんでいる姿を見ることができたのは良かった。子どもたちが各事業に関わっていくことで各プログラムの繋がりが今後期待できる。子どもたち自らが試行錯誤している姿が印象的だった。
勝倉委員	いつも平日を利用しているのでその状況は見ているが、土日のギャラクシティを初めて見た。今回は春まつり（春フェス）ということもあって、館内がフル活動の状況であった。専門家の先生、ボランティア、「こどもみーていんぐ」を卒業した中学生等の先輩サポーターが活動を継続しており、このような活動が大変重要であり感銘を受けました。
山崎委員	スチールパンの演奏を見て、足立区の文化レベルの向上に役立っていると感心した。学校では体験できない、先生ができない事業を展開するのは大変価値がある。また、年を重ねるごとにかかわる方が増え、中学生になった方でも繋がっているのは貴重な場所である。今後も足立区に貢献し、足立区民に還元してほしい。
宮田委員長	中学生が子どもたちをサポートする事業は珍しく、他の科学館は小学生までであるので、ポテンシャルの高さを感じた。こどもみーていんぐの多くの子どもたちは、子どもだけで来館している。このことは、その子どもたちと親の信頼関係が醸成されていることの表れであると感心した。
小森委員	先輩サポーターは今年5年目になるが、参加記録をつけて子どもたちへの感謝状の贈呈等を行っているのか。文科省ではそのような表彰制度を行っているので、うまくリンクできるので、お声がけください。
黒川館長	感謝状贈呈は実施していない。
池田委員	高校生がかかわっているのはあるのか。
俣田副館長	「Gがくえん」がある。ギャラクシティにおける高校生の部活のようなものである。
山崎委員	「Gがくえん」に参加する高校生の定員を増やすことはできないのか。
俣田副館長	先生の教える人数範囲を超えるので増員は難しい。応募状況も適切な人数となっている。
小森委員	地域で子どもを育てていく教育支援の話が出ている。ギャラクシティに関わっている、高校生が地域で先生になる。ギャラクシティの事業は良い先進事例である。
池田委員	高校生の繋がり、プログラム（ワークショップ）を超えたのも重要である。若い方の力を「ギャラクの応援団」のようにして広がっていくことを期待している。

宮田委員長	<p>< 8. 閉会 ></p> <p>それでは以上をもちまして、足立区ギャラクシティの平成28年度運営にかかる、第1回運営評価委員会を閉会いたします。</p>
中島係長	<p>< 9. 事務連絡 ></p> <p>第2回目以降の日程調整をメールにて行う予定である。</p>